

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【公開番号】特開 2003-75883 (P2003-75883A)  
 【公開日】平成 15 年 3 月 12 日 (2003.3.12)  
 【出願番号】特願 2002-157073 (P2002-157073)  
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 B 5/00

G 0 3 B 7/093

H 0 4 N 5/225

H 0 4 N 5/232

// H 0 4 N 101:00

【F I】

G 0 3 B 5/00 L

G 0 3 B 7/093

H 0 4 N 5/225 G

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 101:00

【手続補正書】  
 【提出日】平成 17 年 5 月 30 日 (2005.5.30)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】特許請求の範囲  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

デジタルカメラのシャッタ速度調整方法において、  
 画像内のモーションブラーを測定し、  
 前記モーションブラーが所定量よりも大きいときにシャッタ速度を最大にする、  
 ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

少なくとも 2 つのフレームをキャプチャし、少なくとも 2 つのフレームを比較して前記  
 画像の前記モーションブラーの量を決定することをさらに含むことを特徴とする請求項 1  
 に記載の方法。

【請求項 3】

前記 2 つのフレームが、2 次元テイラー級数展開を使用して比較されることを特徴とす  
 る請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 2 つのフレームが、最終画像をキャプチャする直前にキャプチャされることを特徴  
 とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

光学センサと、  
 前記光学センサ上に画像を形成するレンズと、  
 前記光学センサが前記画像を認識している時間の長さを制御する速度調整可能なシャッ  
 タと、  
 前記画像内のモーションブラーの量を測定するように構成されたプロセッサと、  
 を含み、前記プロセッサが、前記モーションブラーが所定量よりも大きいときに前記シャ

ッタの速度を最大にするように構成されたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 6】

前記光学センサからの少なくとも 2 つのフレームをキャプチャし、少なくとも 2 つのフレームを比較して前記 2 つのフレーム間の前記モーションブラーの量を決定するように構成されたプロセッサをさらに含むことを特徴とする請求項 5 に記載のデジタルカメラ。

【請求項 7】

画像内のモーションブラーを測定し、シャッタ速度を前記モーションブラーの量の関数として設定することを特徴とするデジタルカメラのシャッタ速度調整方法。

【請求項 8】

少なくとも 2 つのフレームをキャプチャし、少なくとも 2 つのフレームを比較して前記画像の前記モーションブラーの量を決定することをさらに含むことを特徴とする請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記 2 つのフレームが、最終画像をキャプチャする直前にキャプチャされることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

光学センサと、

前記光学センサ上に画像を形成するレンズと、

前記光学センサが前記画像を認識している時間の長さを制御する速度調整可能なシャッタと、

前記画像内のモーションブラーの量を測定するように構成されたプロセッサと、  
を含み、前記プロセッサが、前記シャッタの速度を前記モーションブラーの量の関数として設定するように構成されたことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 11】

前記光学センサから少なくとも 2 つのフレームをキャプチャし、少なくとも 2 つのフレームを比較して前記 2 つのフレーム間の前記モーションブラーの量を決定するように構成されたプロセッサをさらに含むように構成されたことを特徴とする請求項 10 に記載のデジタルカメラ。